

2012
May 25
Friday

Vol.5

Anarchy face Times

☆新製品!!

Norse Stool 北欧スタイルのマルチスツール



かっこよさの中にかわいらしさも感じられる暖かみのあるデザイン。座面はスツールにしてはワイドが広く、お尻にピッタリフィットする形に設計されているため、ダイニングの横に置くとちょっとしたスツールや、ソファ横のオットマンとして使用されても、しっかりとした座り心地を確保することができます。
また、総無垢材で製作されているフレームは将来のアンティークの可能性を十分に秘めている一品です。オーク、ウォールナット以外の各素材にも対応していますので、ちょっとしたときに腰をおろせるチェアをお探しの方は是非ともオススメしたい商品です！

New Arrival Animal Ball Pen



animal ball pen

なんとこのボールペン、すべて職人さんが手作業で削り出して作っているんです。そのため、同じ動物でも微妙に表情が違います。ボールペンの芯は使い切りになりますが、インクが無くなった後もかわいいインテリアとして活躍してくれることは間違いないでしょう。



↑ペンのタイプは、オブジェ型と一体型の2パターンがあります。



←削り出しのペン立てでも、まるで大木に作られた動物の家のようで、一体感は抜群。

オススメ商品

●木製置時計



今回ご紹介させていただくのは、木製の置時計です。

ひとつひとつが全て違う表情をもつ木の時計。文字盤、長針、短針までムーブメント以外は全て無垢材を削り出して作られています。木目はすべて違い、同じものは一つとしてありません。ぱたぱたと忙しい毎日ですが、ふと木の時計を見ると時間がゆったりと感じられそうですね。
愛嬌があって、インテリアともなじみやすい木の時計は贈り物にも喜ばれます。新築、結婚、引っ越し、就職のお祝い、お友達の誕生日プレゼントなどにいかがでしょうか(^_^)

お客様店舗紹介

手羽先 居酒屋『てば巻』

今回のご紹介は、手羽先にこだわり抜いた居酒屋『てば巻』です。

もともとは、手羽先の移動販売からスタートし、店舗拡大につれてニーズに合わせたメニューを増やしていった『てば巻』。手羽先には並々ならぬ自信を持っており、その自信にはしっかりとした裏付けがあります。手羽先を販売するにあたって、まずは手羽先で有名な名古屋に行き、いろいろなお店を周り研究したそうです。料理長の広野さんは、できあいの味にはしたくないという思いから、手羽の仕入れはポイルされたものではなく、日本では希少価値の高い生手羽のみを、サイズも大き過ぎず、小さすぎない厳選された手羽のみを使用。

秘伝のタレには、地元富山県で今もなお昔ながらの製法で造っている醸造元の造り手から分けてもらったたまり醤油、そして沖縄産のこだわりの黒糖を使用。芳醇で香ばしい香りとともに、手羽先のおいしさを一層惹き出してくれます。

料理だけではなく、内装にもこだわりがあり、提灯や紅白幕などわいわいがやがやと楽しめる、屋台のようなお店になっています。赤ちゃんから大人の方まで幅広い客層に楽しんでいただけるよう手羽先以外のメニューもかなり豊富に盛り込んであるので一度足を運ばれてみてはいかがでしょうか(^_^)



てば巻のこだわり『手羽先』



店内



新鮮な野菜のサラダ



ちくわの磯辺揚げ



総料理長の広野さん



絶品串焼き



蟹のぬり揚げ



店舗

- てば巻 上飯野店
- てば巻 山屋店
- てば巻 高岡野村店
- てば巻 小杉店
- てば巻 高岡内免店
- てば巻 富山駅前店
- てば巻 高岡本津店

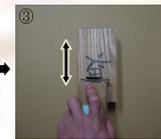
～ミヤモト家具の使い方～

今回は、無垢材ならではの汚れの落とし方をやってみようと思います。

お子さんが小さい時はいろんなものをこぼしたり、家具に落書きしてしまったりすることもあると思います。普通に使用していても、汚れやキズはついていくものですが、日常でつく小キズやシミは残すことによって『風合い』となり『味』として、家具をよりアンティークに近づけてくれるエッセンスになります。しかし、落書きや、輪ジミなどあまり残したくない汚れが付いたとき、無垢材オイル仕上げでは下記のような直し方ができます。



- ① 無垢材と油性マジックを用意しました。
- ② 無垢材にマジックで落書きします。
- ③ サンドペーパーを使い、落書き部分をガシガシやすります(木目に沿ってやすって下さい)。
- ④ やすりがけが終わり色の薄くなった木。
- ⑤ 仕上げに植物性の天然オイルを塗ります。写真は上半分のみ。
- ⑥ 前面オイル仕上げをして完了です。落書き前よりもかっこよくなりましたね(^_^)



Editor 畑 康志

みなさんこんにちは、ヤスです(写真左)。今回は、前回に引き続きかなり内容の濃い News Paper になったと思います！写真は、『てば巻』さんにお邪魔したときに一緒に撮っていただいたものです。おいしいので是非一度行ってみて下さい！では、また次号でお会いしましょう(^_^)



INTERIOR SHOP MIYAMOTO

富山市千石町通り 1-1-6
TEL 076-422-1122 FAX 076-492-0322
E-mail info@miyamoto-kagu.net
http://www.miyamoto-kagu.net
最新情報はHPの『Latest News』から！